トンボ

第六号

文治堂書店

9784938364366
ISBN978-4-938364-36-6
C9092¥00400E
1929092004002
定価　400円（税別）
文治堂書店

トンボ06-hyousi.indd　1　2020/05/30　9:49:44

北川太一（ひとほんほか）

いのち ふしぎ

四六判　一七〇頁
定価一、五〇〇円

光太郎への思慕と敬愛により知った伊藤信吉・草野心平。出版により知己を得た品川力・渡辺文治。仏教文化に志を共有した三宅太玄・加茂行昭。昭和十九年、出征前の師や学友への追悼文他、著者が選んだ五十編、初の随想集。

光太郎伝試稿

ヒュウザン会前後

四六判　二三〇頁
定価一、八〇〇円

明治が大正に変わる一九一二年、光太郎は斎藤与里の熱意を受け岸田劉生、木村荘八等とともにヒュウザン会を興す。北山清太郎の支援・協力により催された展覧会は「公」に対するアンデパンダンであった。著者のライフワーク、試稿シリーズの Ⅲ となる。

神西清評論集　上下巻

上巻　外国文学　七〇〇〇円
下巻　日本文学　六〇〇〇円

三島由紀夫が師と仰いだ神西清（一九〇三―五七）、露・仏語に堪能で、堀辰雄とともに流麗な筆致をもって新文学の移植に務めた。

高木　馨

高村光太郎考 ぼろぼろな駝鳥

四六判　三八〇頁
一、九〇〇円

明治・大正・昭和に詩人、彫刻家として生きた光太郎。その離群性と時代性を評伝と評論の両面から照射した労作。

野沢　一（はじめ）

詩集　木葉（こっぱ）童子詩経

新書判　二七〇頁
九八〇円

山梨県蛾ヶ岳四尾連湖畔の掘立小屋に、戦前六年間山籠りした若き詩人の人間賛歌。光太郎あての手紙十九通を収める。高村光太郎・序。題字・草野心平。

ふるさと文学散歩

二本松と智恵子

文・勝畑耕一　画・のぞゑのぶひさ

三二頁
三〇〇円

曖昧をゆるさず妥協を卑しんだ高村智恵子、その五十二年の生涯を細密な画と文で綴る。

文治堂書店
杉並区井草 2－24－15
E-mail：bunchi@pop06.odn.ne.jp
URL：http://www.bunchi.net/

安川定男

詩と音楽

四六判　二三〇頁
二、六〇〇円

白秋、朔太郎の韻律を分析、ドビュッシー、ラヴェルを通じて詩と音楽との係わりを追究する。齋藤磯雄、高田博厚、山崎栄治らの良き師友に囲まれ、名ピアニストの妻との語らいの中で、著書は豊かな音楽的思考を培った。

秋山賢司

碁の句 ―― 春夏秋冬 ――

B6判　二〇〇頁
一、二〇〇円

碁の背後にはさまざまな文化的文芸的な厚みがあります。俳句がそのいい例でしょう。ほかにこんな素晴らしい知的ゲームは考えられません。本書を多くの方にお勧めするゆえんです。
（大竹英雄名誉碁聖）

吉田邦郎

忘れられた宗教哲学者 斎木仙酔

四六判　四二〇頁
三、五〇〇円

古今の宗教・哲学・詩歌・文学を包括し、独自の世界観を目指した斎木仙酔（一八八〇―一九三二）の評伝。仙酔の孫である著者、六〇〇枚の労作。年譜・書誌・四百人超の人名索引付。

阿武千代

陸軍看護婦

四六判　二一〇頁
一、三〇〇円

戦争末期の広東、厳しい軍隊の規定にあって、著者は赤痢、チフス、コレラ患者の伝染病棟で看護婦として従事した。波第八六〇一部隊とよばれた陸軍病院での実体験を綴る。佐藤愛子氏推選

曽我貢誠　詩集

学校は飯を喰うところ

一、二〇〇円
五〇〇円

「いじめを一人でもなくすこと」「先生を五分でも早く家庭に帰すこと」そんな思いで、元中学教師が心を込めて綴った学校詩集！　昔、中学生だったあなたも読んでみて下さい。（著者）

島岡明子

『紅爐』私記　同人誌三十年

一、二五〇頁
二〇〇円

静岡で一九六三年に創刊された文芸同人誌『紅爐』。その終刊まで三十年の軌跡を終始編集の現場に立ち会っていた著者の、証人（あかしびと）としての一冊。
装画・宮下芳子　吉田知子氏推選

弊社の書籍は一般の書店には並びません。送料無料ですので直接の購入が便利です。定価はすべて税抜価格です。

トンボ06-hyousi.indd　2　　2020/05/30　9:49:44